

千葉県水産総合研究センター

内水面水産研究所 展示室

この研究所では河川・湖沼の水産物の研究が行われている。付属の展示室では、事業内容に関する展示や、県内の様々な魚類・漁具を見学できる。

●見学は月・火・水・木・金曜の9時30分～16時

祝日・年末年始休館、無料

※団体見学は事前申込 TEL.043-461-2288

臼井台稲荷神社のカヤ

高さ15m、目通り幹囲5mの雄株で、境内の祠にはお稲荷様が祀られている。大正時代の「お宮の火事」のためか一部枯死しているが、全体の樹勢はいまなお旺盛である。

臼井城址公園

臼井城は、平安時代末から鎌倉時代初め頃に千葉氏一族の臼井常康(うすい つねやす)が築城したことに始まるといわれる。空堀や土塁が残るこの城は、現在は臼井城址公園として整備されており、足下に印旛沼が望める。近くには常康が守護神を祀ったといわれる星神社(臼井妙見社)や、臼井城攻めで戦死した太田図書(太田道灌の甥)の墓がある。

阿多津(おたつ)の碑

その昔、幼い臼井興胤を守って一族の内紛から逃がした乳母・阿多津は、咳をしたため追手に見つかり、殺されたという。地元では咳どめの神様として「おたつ様」の祠にお茶や麦こがしが供えられる。

雷電の墓

江戸時代の名力士 雷電為右衛門は臼井の出身だった妻の実家の墓地に分骨された。近くの妙覚寺には雷電の顕彰碑がある。

権現水

宗徳寺の清水。かつて、狩の途中立ち寄った徳川家康が賞味したという。

臼井街づくり資料展示室(臼井公民館内)

臼井地区のまちづくりに関わる展示がなされている。土地区画整理で出土した土器など、臼井の今と昔が見られる。

●9時～17時、月曜・祝日休館、無料

TEL.043-461-6221 (臼井公民館)

江原刑場跡

佐倉藩の刑場跡地で供養塔が建つ。藩医で蘭方医の鍋木仙安(かぶらぎ せんあん)らは、ここで全国的にも早い時期に人体解剖を行った。



成田道 道標



印旛沼

臼井八景

隠士 臼井信斎(うすい しんさい)と円応寺の住職 宗的(そうてき)が、北宋の瀟湘八景(しょうしょうはっけい)にならって、元禄11年(1698年)に選定した景勝の地である。

◎舟戸夜雨(ふなとやう)

雨の夜の舟戸の情景。舟戸は漁師の船着場であり、また渡船場でもあった。

◎遠部落雁(とおべらくがん)

印旛沼に鹿島川が流れ込む遠部の砂洲に、旅の雁が舞い降りる。

◎飯野暮雪(いいのぼせつ)

冬の夕暮れ、木々の繁る飯野の丘に降り続く、雪の情景。

◎師戸帰帆(もろときはん)

夕暮れ時、帆船が風いだ水面を対岸の師戸へと帰っていく。

◎瀬戸秋月(せとしゅうげつ)

静かな秋の夜、遠い対岸の瀬戸に月が輝く。水面の月影は流れるかのよう。

◎城嶺夕照(じょうれいせきしょう)

臼井城の廃址を照らす落日の情景。

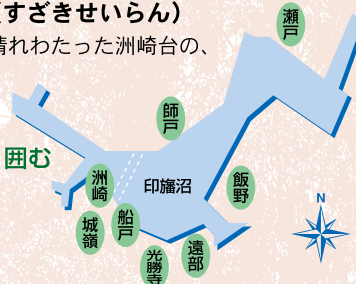
◎光勝晩鐘(こうしょうばんしょう)

夕刻を告げる光勝寺の鐘の音が、一帯に響き渡る。

◎洲崎晴嵐(すざきせいらん)

露が払われて晴れわたった洲崎台の、静かな情景。

印旛沼を取り囲む
臼井八景



■企画・発行■

佐倉市教育委員会文化課

〒285-8501 千葉県佐倉市海隣寺町97 TEL.043-484-6192

USUI

GUIDE

臼井 さんさく

ミニ見にガイド

MAP





USUI MINI MAP

うすいミニマップ

- 国道296号
- 旧成田街道
- 散策向きの道
- 台地
- P 駐車場
- WC トイレ

●地区案内
 佐倉市の文化活動の拠点、佐倉市民音楽ホールのある臼井地区は、市内では都市化の進んだ地域の一つです。その一方で、この地区は随所に古い歴史を残しています。戦国の昔をしのばせる臼井城跡。臼井氏ゆかりの史跡の数々。町中なかに残る成田街道の道標からは、成田山詣での宿場町として栄えた江戸時代の臼井をうかがうことができます。

0
 500m
 のあたり歩いて10分

